

回覧

地域の皆様へ

地区版第22号

発行日：平成31年4月25日



たちばな会だより

発行者：社会福祉法人たちばな会
理事長 二橋 寛
住所：浜松市浜北区於呂514
電話：(053)588-3214

桜の季節もあっという間に過ぎ、代わって花水木が薄紅色の清楚な花を咲かせ、窓外には、初夏を感じさせる風に鯉のぼりが元気よく泳いでいます。

たちばな会は、地域の皆様に支えられて今年で41年目に入りました。4月1日に入所式を行い、たちばな授産所に2名、サンステップに1名の新利用者を迎えた結果、両施設の利用者は合計75名となりました。また、4月20日には、早々に共同募金会からの助成を得て作業室・会議室のエアコンを更新することができました。暑くなる季節を控え本当に助かります。それから、昨年度の作業収入は4,000万円を超えて、利用者には工賃を増額支給することができました。このように、たちばな会の運営が順調に推移しているのも、地域の皆様をはじめご協力いただいている関係者の御理解と御協力のお陰と心より感謝申し上げます。

平成31年は天皇陛下が退位されるから4月で終わるんだなと思いながら、例年通り、これまでの1年間の事業を振り返り、今年度の職員体制や利用者の支援内容、作業の取扱等についてあれこれ思いを巡らすうちに、新しい元号も「令和」に決まりました。そして、この便りが皆様に届く頃には30余年続いた平成はもう終わって、令和元年5月となっていることでしょう。

昭和の後半は高度経済成長ということで、隣の人がカラーTVを買えばカラーTVを、自動車を買えば自動車をと、とにかく後れを取らないように新しく登場する商品を買い求め、最後に土地や住宅に行きついた所でバブルがはじけ、平成は、失われた10年、20年といわれるような時代で何とかデフレから脱却しなければともがいた政策の結果、格差社会を招いてしまいました。少子高齢化で人口が減少し、労働者不足解消のために既に250万人以上といわれる外国人をさらに受け入れる政策が始まる令和は、欧米の例を見るような、いかに多様性を受け入れるかが問われる難しい時代になるのでしょうか。

(施設長 山下敏明)



■開所記念式・入所式で挨拶される
(社福)たちばな会の二橋理事長



■のどかな春の一日を、浜松フラ
ワーパークでお花見

行事の紹介

◆2019年度前半の行事予定

<4月>

開所記念式・入所式、お花見
ハイキング、交通安全教室

<5月>

ふれあいコンサート（た）

<6月>

浜北合同スポーツ交流会

<7月>

七夕、納涼祭

<8月>

夏季休暇

<9月>

総合防災訓練、慰安旅行

第23回鉄板焼き大会

（日本ロック様の招待行事）

【餅つき】（H30.12.14）

毎年恒例の餅つき大会を開催しました。多くの来賓の皆様にご参加いただき、利用者の皆さんと一緒に餅つきを楽しんでいただきました。つき上がったお餅は、あんころ餅やきなこ餅などにして食べました。



【豆まき】（H31.2.1）

一年の無病息災を願って、職員と利用者が一緒に豆まきを行いました。豆だけではなく駄菓子もまかれたので、利用者さんは一生懸命に拾って袋に詰めていました。



地域の皆様に支えられて

※実施日（たちばな授産所／サンステップ）

【おうちコープ交通安全教室】（H30.8.10）

生活協同組合ユーヨープ様に交通安全教室を開催していただきました。みんなが知っている配送トラックを使用しての安全指導は、利用者にとっても非常に分かりやすい内容でした。



【レクリエーション講座】（H30.9.14）

美薗フレンドリーコーラスの皆さんにミニコンサートを開催していただきました。たちばな授産所の利用者さんと一緒に、手拍子や合唱で楽しいひとときを過ごしました。



【第22回鉄板焼き大会】（H30.9.22）

株日本ロック様のご好意により、第22回鉄板焼き大会にご招待いただきました。毎年、利用者さんだけでなく、保護者や職員まで招待していただき、みんなで楽しいひとときを過ごしました。



【慰安旅行】（H30.9.27～28）

たちばな授産所は京都方面に行き、太秦映画村や京都鉄道博物館などを見学してきました。



た。サンステップは伊豆方面に行き、蘿山反射炉や三島スカイウォークなどを見学してきました。1泊2日の日程で、どちらも楽しい思い出となりました。

【聖隸クリリストファー大学学園祭】（H30.11.3）

社会福祉法人たちばな会としてははじめての試みでしたが、聖隸クリリストファー大学の学園祭に出店しました。当日は綿菓子やポップコーン、授産製品の販売、ワークショップなどを行いました。

